

# 日根野中だより

令和5年6月6日発行 日根野中学校 校長 武田 博之

## ここまでたどり着けたことに感謝！

~~~~素直で謙虚な姿勢…その中で見えてくる真実~~~~

各クラブの活動が盛んに行われるようになりました。校内で練習に励むクラブ・公式戦が迫ってきたクラブや、もうすでに公式戦に臨んだクラブなど様々な情報が入ってきます。

でもよく考えてみてください。そんな活動や、対外試合に参加できる幸せを…。そのような活動にはもちろん家庭・保護者の方々の理解と協力なしでは実現できないということ…。朝早くからの食事や活動の準備…交通費や大会参加費の協力など…これらなしで実現することはないですね…。また、それら大会に臨むまでの先生方の労力を考えてみてください。どれだけの時間を費やし、計画し、みんなを高めたいという信念のもと取り組んでくれているのか…。そんなことを考えていくと、まずその活動や対外試合に臨めている状態に、有り難いという気持ちを持たなければ…それに応えようと、もがいてでもがんばらなければ…社会の中でこれから生きる、ひとりの間として何か足りないのではないかと…と思われても仕方がないですね…。

その上、「国難」ともいえる状況下…新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中であっても、この活動が保証されてきたことへの感謝…。関わるすべての人たちの思いが、一つの方向に向いているからこそ、実現できてきたことに気づき、感謝しなければいけないと思うのですが…どうでしょうか？

人間が生きていく上で、感謝の心を持つことはとても大切です…。人間、感謝の心がないと、幸せが訪れることはきっとないでしょう。感謝の心を持つからこそ、幸せになれるのであって、幸せになってから感謝しようという考えでは、一生幸せを感じることはできないと思います…。そう考えると、みんなが共通して直面してきた、この「国難」こそ、見る角度や考え方、捉え方を自分の力で変え、少しでも感謝すべき物事を見つけ、本当の幸せを引き寄せる力を身に付けていくチャンスだったのかもしれない。そんな生きる力こそ、今、人間として求められているように感じます。

まだまだいろんな制限・制約はこれからも求められることもあると思います。そんな時だからこそ、その意味を理解しようと考え、その見えないところに潜む真理を見つけ、その真意（深意・意図）に気づく…。そんな人の深い思いに触れることができれば、自然と感謝できる心…その思いに応えていこうと努力する人間になっていけるのだと思います。何より…

「今」に感謝！…これが大事でしょうね！

感性の広がり、人生の広がり…

感性豊かに物事を捉える…他人の思いを考えることができる…  
そんな力が身につけば、他人の心が手に取るようにわかるようになり、  
人生が広がり高まっていく…そんな感性を持ちたいものですね…

## 修学旅行を迎えるにあたって…

昨年度より日根野中学校の修学旅行は2泊3日で沖縄へ…。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により閉ざされてきた、修学旅行・沖縄の門戸を開きました。大変大きな決断だったと思っています。

今年度は昨年度の実績のもと、迷うことなく沖縄へ…現3年生はその土台の上に立ち、今までにない、新しい発想の、素晴らしい取り組みを続けてくれました。それら取り組みから生まれてくる、学校としての強い要望に応え、度重なる変更や微調整、プランの変更や宿泊先のホテル等の調整をしてくださった旅行者の方には感謝するばかりです。本当にありがとうございました。また、この修学旅行成功に向けて地道に準備を積み重ねてきた平和実行委員やプログラム委員のみなさん…それらを支え、共に取り組んでくださった先生方…本当にありがとうございました。修学旅行という大きな行事を実施するにあたって、その陰に…見えないところで多くの方々の熱い思いや努力が欠かせないということを、今年度の取り組みを通して再確認できた気がします。

3年生のみなさんは、そんな多くの方々の献身的な姿に思いを馳せ、この修学旅行を感謝の気持ちで迎え、沖縄に赴き、平和学習や様々な体験を自分の大切な経験・力とすることができるようがんばってください。

生涯忘れることができないような思い出を、日根野中学校の仲間と共有できることを期待しています。

平和な今…  
慌ただしい中でも歴史を知り  
先人の思い・恵みに気づき  
感謝する心を持ち続けよう…  
その心こそ明日への歩みの  
真の力になるだろう…